

2015年度の壁紙需要先アンケート調査の結果

「壁紙需要先アンケート」、今年も2015年度の状況を5月上旬にブランドメーカー、二次卸店に用紙を配布して回答してもらった。その結果は、住宅・非住宅の比率では、住宅62%(前年比2ポイント減)、非住宅38%であった。

また、平成25年以降聞いている「新築」「リフォーム」の比率については、新築が60%、リフォームが40%で、リフォームが4.5ポイント増加であった。国交省が説く通り、住宅建設需要はリフォーム時代に入ったと感じられる数字である。

【アンケート項目】

アンケートは、先ず回答者が「ブランドメーカー」か「二次卸店」か答えてもらった。

次に、2015年度の需要先の「住宅用」「非住宅用」の比率を聞いた。

続けて「非住宅用」の内訳が、①商業建築、②学校・病院、③オフィス、④その他に分けて、それぞれどれくらいの比率なのかを聞いた。4番目の質問は、同年度の総需要を「新築」と「リフォーム」に分け、それぞれどんな比率かを聞いた。

集計結果は、それぞれグラフ、表1、2、3、4に掲載したとおりである。

こうして得られた比率に基づき、同年度の壁紙出荷量を、各比率に当てはめてみると、表4「需要先比率と需要量」で見るとおり新築が413,535千㎡、リフォーム264,391千㎡で、合計すると677,925千㎡となる。

さらに、非住宅用分を①～④の中身に分けてみると表2で見るとおりである。

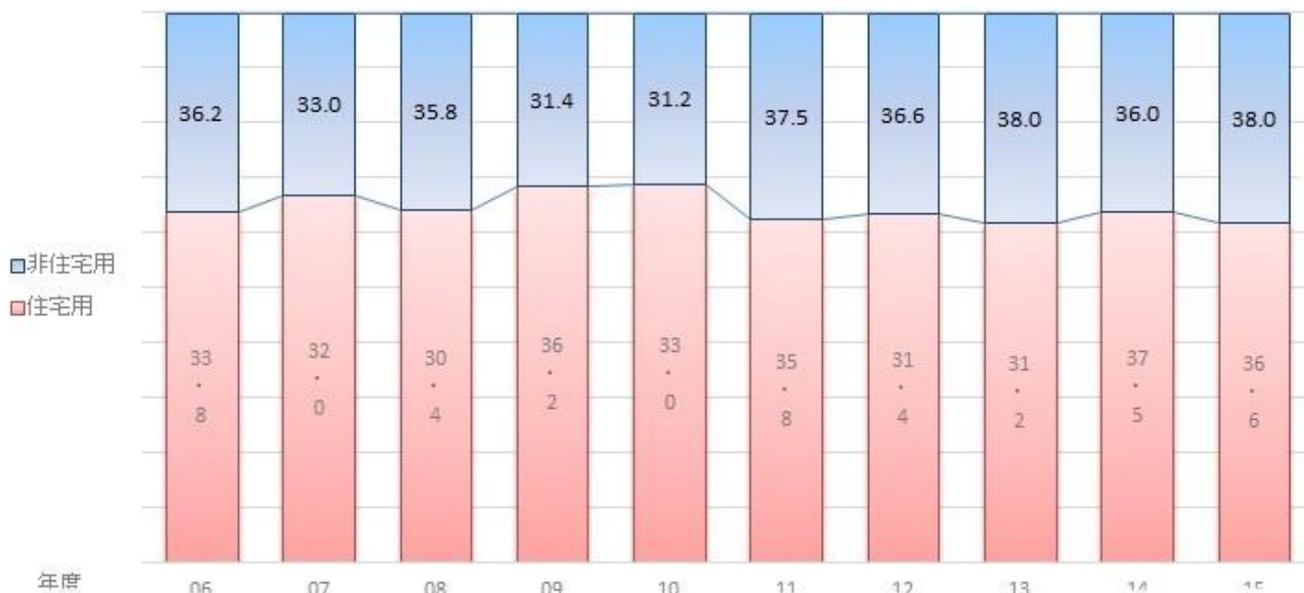


表1 2015年度 壁紙需要先比率 住宅・非住宅 (%)

業 態	住 宅	非住宅
ブランドメーカー	61	39
二次卸	63	37
平均	62	38

表3 2015年度壁紙需要—新築・リフォーム比率 (%)

業 態	新 築	リフォーム
ブランドメーカー	67	33
二次卸	57	43
平均	60	40

表4 2015年度 壁紙需要比率と需要量 (%、千㎡)

需要先	構成比	需要量
新築	60	406.756
リフォーム	40	271.170

表2 需要先別の壁紙需要量の推移 (2013—2015) 単位：% 千㎡

	2013年度		2014年度		2015年度		
	構成比	需要量	構成比	需要量	構成比	需要量	
住宅用	62.0	450,120	64.0	433,004	65.0	440,652	
非住宅用	38.0	275,880	36.0	243,564	35.0	237,274	
	①商業建築	46.0	126,905	47.5	115,693	57.2	135,721
	②学校・病院	23.7	65,384	25.5	62,109	18.2	43,184
	③オフィス	16.8	46,348	14.0	34,099	18.2	43,184
④その他	13.5	37,243	13.0	31,663	6.4	15,185	
合計	100.0	726,000	100.0	676,568	100.0	677,926	

壁装新聞(第436号)より引用